



東京オリンピック・パラリンピックを未来へつなごう

vol.4

カヌー競技の聖地・木場潟

木場潟公園中央園地付近にある木場潟カヌー競技場は、カヌーの体験会や市内高校生の部活動で利用されているだけでなく、世界のトップレベルの選手が集う場として注目されています。今回は、小松で盛り上がりを見せているカヌー競技をピックアップします。

国内外から注目を集める 充実した練習環境

木場潟カヌー競技場は、国民体育大会が開催された平成3年に整備されました。以来、ワールドカップ、世界ジュニア大会、さらにはオリンピックの大陸予選が開催さ

れるなど、ハイレベルな国際大会の会場として利用されています。平成29年には木場潟トレーニングセンターが完成したことで、情報分析やウエイトトレーニングなども行えるように。より効率的に練習ができる環境が整い、文部科学省のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設にも指定されています。

問い合わせ スポーツ育成課 ☎24・8139

世界の舞台に挑む 選手たちを応援しよう

木場潟では、カヌースプリント日本代表候補選手が5月中旬まで合宿を行っています。この合宿で、今年の世界選手権、アジア大陸選手権などに派遣されるメンバーが選ばれ、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの出場枠をかけた戦いが本格化していきます。さらに、ニュージーランド、イギリス、カナダなど6カ国の代表チームも事前合宿を行うことが決定しています。



▲木場潟トレーニングセンター
日本代表チームの強化拠点として、毎年150日以上強化トレーニング合宿が行われています。



▲安宅住吉神社で、2020東京オリンピックの出場枠を勝ち取るための必勝祈願を行ったカヌースプリント日本代表候補選手たち。

日本初 「アジア・パシフィック・カヌースプリント大会」開催決定！

2020年5月、カヌー国際大会「アジア・パシフィック・カヌースプリント大会」が日本で初めて木場潟で開催されることが決定しました。21歳以下の若手選手が出場する大会で、国内のカヌー競技の盛り上がり更に期待されます。



地元小松の木場潟は、親しみがあってとても練習しやすいです。目標は4人乗りでの2020東京オリンピック出場。まずは8月の世界選手権に向け練習を積み、チーム一丸となって難関突破できたらと思います。

カヌースプリント日本代表候補
松下桃太郎選手



パラカヌー日本代表
瀬立モニカ選手

木場潟で練習に励む選手たちが、できるだけ多く東京オリンピック・パラリンピックに出場できるよう、皆さんで応援しましょう。

木場潟はカヌー競技場、トレーニング場、一周6.4kmのランニングコースがあるなど、1カ所で様々な練習ができるので、トレーニングの幅が広がっています。必ず2020東京パラリンピック出場枠を勝ち取り、ふるさと東京で皆さんと最高の時間を共有したいです。

開会式を見に行ったときの
写真や、聖火ランナーを務めた
ときのシャツなど、何でも
お寄せください。

オリンピック・パラリンピックのお宝募集

1964年東京オリンピック・パラリンピックのゆかりの品や写真など、皆さんがお持ちのお宝を募集します。採用されたお宝は、7月1日(月)から義経アリーナ(末広体育館)で開催する企画展「がんばれ日本！GOGO東京オリ・パラコーナー」で展示します。

応募締切 5月31日(金)

応募先・問い合わせ 小松市まちづくり市民財団 ☎23・5961



▲1964年東京オリンピック・パラリンピックを記念して、弁慶スタジアム(末広野球場)前に設置されたオリンピック花壇

